

Agenda (チームMUST)

1. 成果物について

- a. COBOLの課題とは
- b. COBOLの課題を解決するには
- c. テーマ：COBOL技術者の育成
- d. 進捗一覧
- e. デモンストレーション
- f. タイピングゲームに期待すること
- g. タイピングゲームの今後

2. 開発後の考察

- a. COBOLそもそもの課題とは
- b. COBOLの今後について提言
- c. マイグレーションによって期待できること：顧客
- d. マイグレーションによって期待できること：Amazon
- e. 後記

01. 成果物について

a. COBOLの課題とは



COBOLって知ってる？ なんだか古臭い感じがするんだよね



COBOLエンジニアの高齢化はかなり問題視されてるらしいよ



そもそもCOBOLを知らないんじゃないかなあ



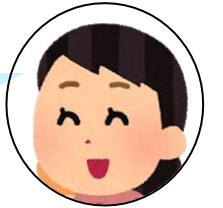
学ぶ機会がないから若者からの認知度も低いんだろうね



せやなあ、若い人はやってるイメージないなあ



なんで若い人はCOBOLやらのやろう？



確かにPythonとかJavaはよく聞くけど、COBOLはあんまり耳にせんなあ

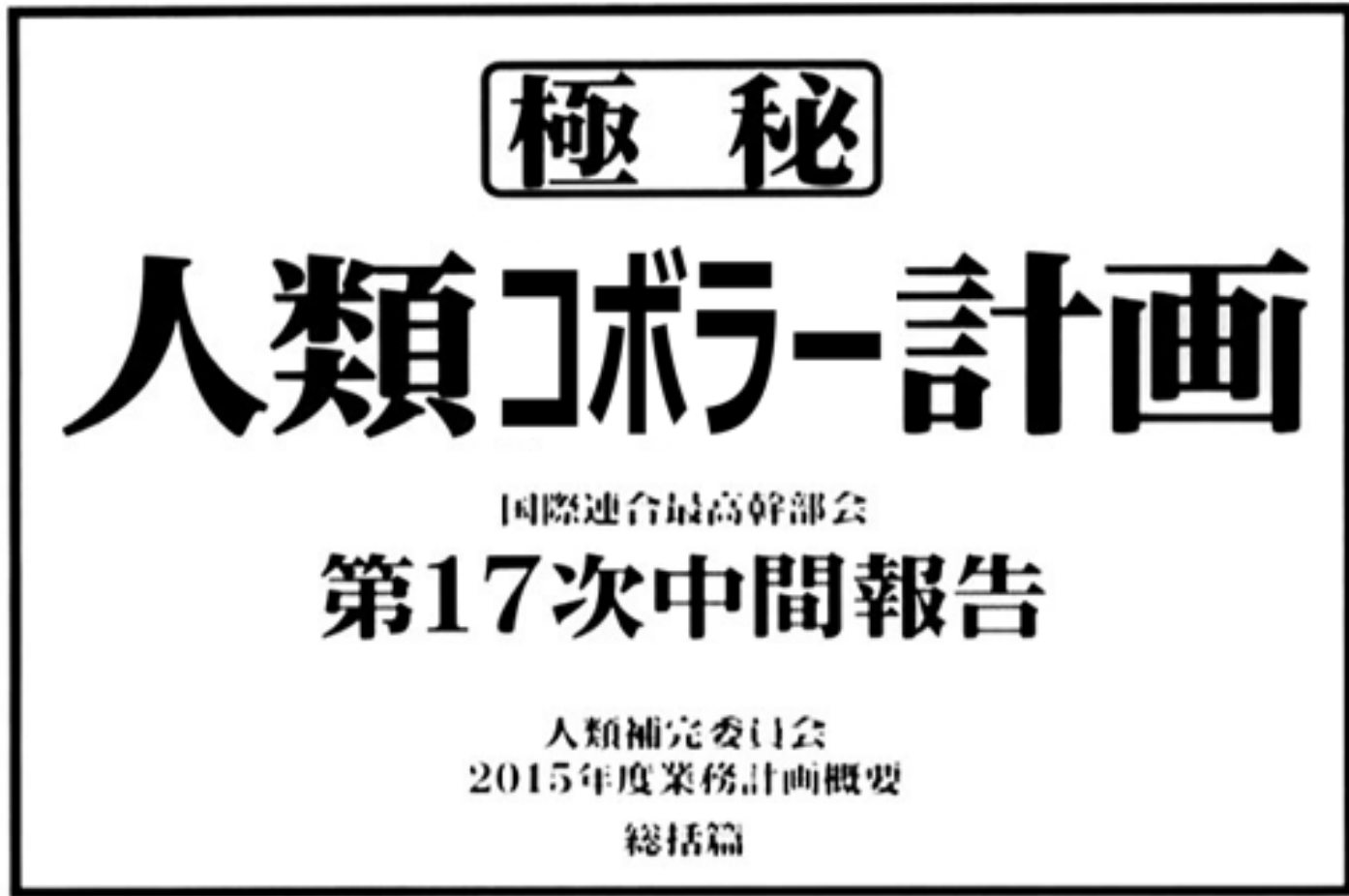
01. 成果物について

b. COBOLの課題を解決するには

**COBOLをもっと世に広め、
次世代のコボラー育成が必要**

01. 成果物について

C. テーマ：COBOL技術者の育成



COBOLがゲームで学べる！？



タイピングゲームから
始めてみます！

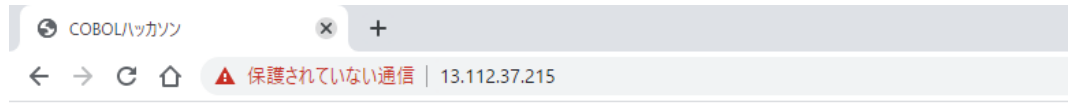
01. 成果物について

d. 進捗一覧

				進捗
要件	タイピングゲームでCOBOLが簡単に習得できるようになること			-
計画	AWS上でCOBOL,WEBの開発ができるようにすること	環境設定	LambdaでCOBOLモジュールを動かす関数の作成	○
			AWS API GatewayでLambda関数を連携	○
			WebとCOBOLの連携	○
	タイピングゲームを実装する	PGM開発	ゲーム部分の作成（HTML,Java）	△
	結果を記録し、ランキングを表示する		ゲームの結果をファイルorDBに出力（COBOL）	×
	プレイヤーのマッチング機能を実装する		RedShiftを使った分析	×
	Web上でゲームがプレイできるようになる	デプロイ	Web上に公開	×

01. 成果物について

e. デモンストレーション

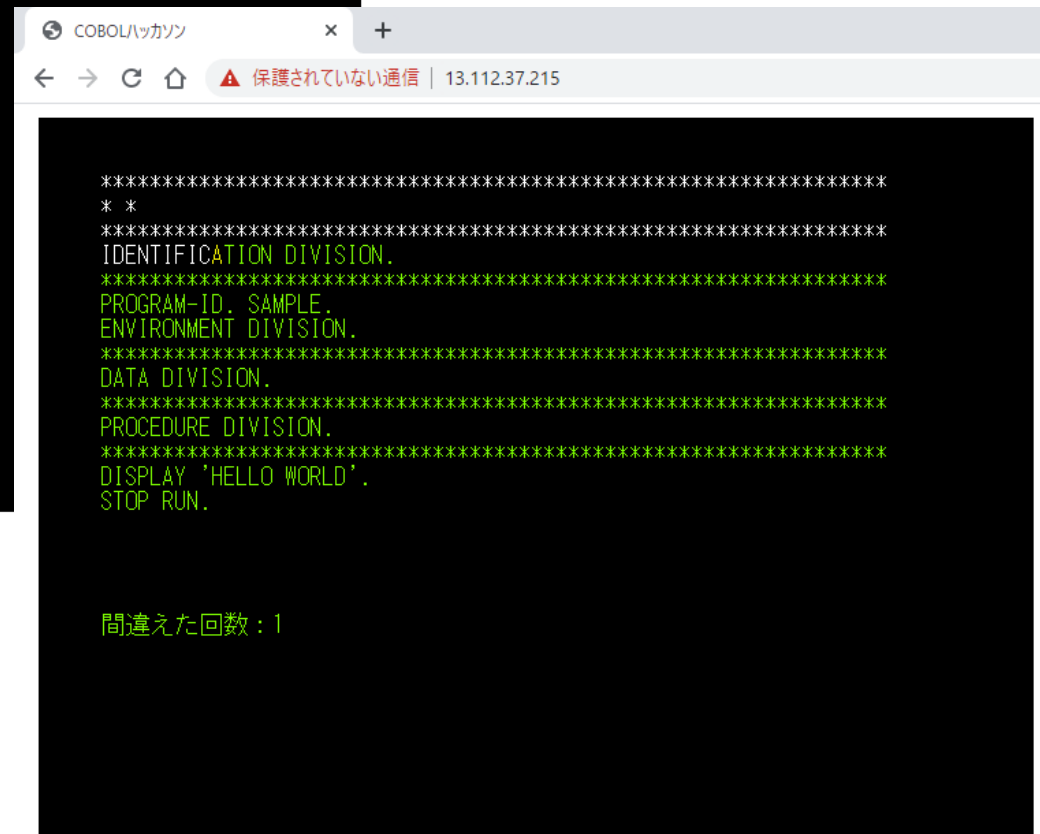


```
Command ==> 1

1 Typing Game
2 xxxxxx xxxx( COMING SOON )
3 xxxxxx xxxx( COMING SOON )
4 xxxxxx xxxx( COMING SOON )

MENU

Menuを選択してください。
```



Ctrlで遷移など、TSOに寄せた操作性で作るものの、
タイピングゲームそのものについては、
仕様を決め切れずに途中で断念。

※COBOL知識や、構文を打つなど、
ゲームで学べるものなどを想定

01. 成果物について

f. タイピングゲームに期待すること

1

ゲームの成績は
大量データとして蓄積され・・・

1位	古保山	古保男	♂	100点
2位	古保山	古保彦	♂	100点
3位	古保山	古保浩	♂	97点
⋮				



2

上位ランキング機能
からのマッチングを実現！

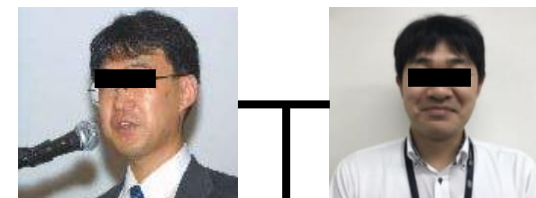
1位
古保古保男
10000点

1位
小堀瑠衣子
10000点



3

最強のコボラー
×
最強のコボラー



01. 成果物について

g. タイピングゲームの今後

そして伝説へ・・・（COBOL界で）



出典：ドラゴンクエストⅢ

最終話

世界の中心で
COBOLを叫んだ
けもの

Agenda (チームMUST)

1. 成果物について

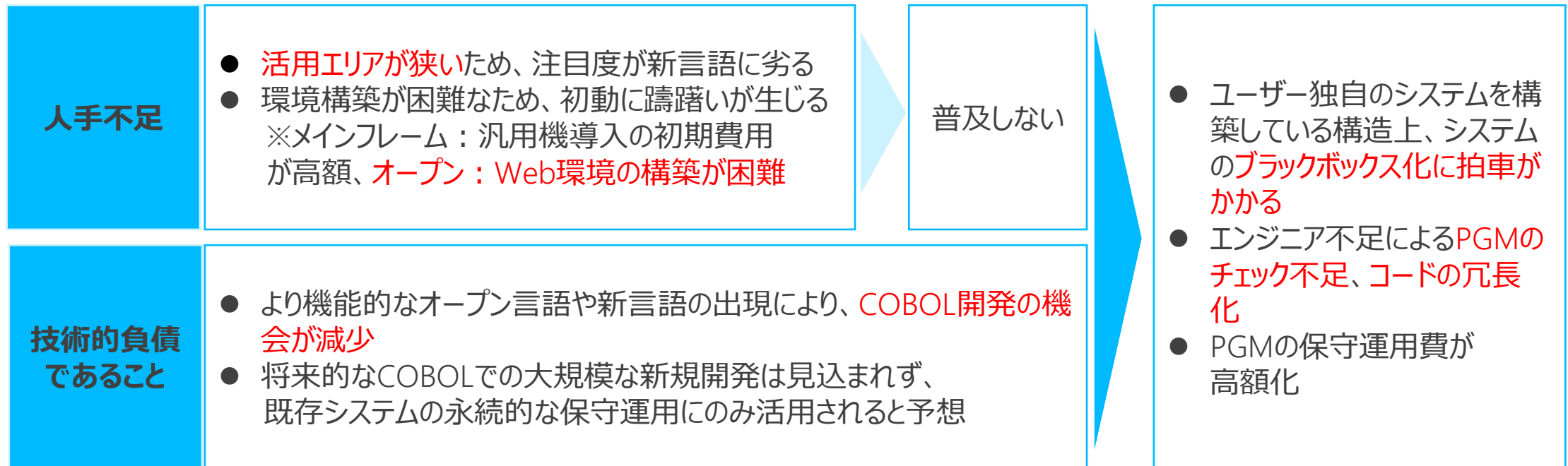
- a. COBOLの課題とは
- b. COBOLの課題を解決するには
- c. テーマ：COBOL技術者の育成
- d. 進捗一覧
- e. デモンストレーション
- f. タイピングゲームに期待すること
- g. タイピングゲームの今後

2. 開発後の考察

- a. COBOLそもそもの課題とは
- b. COBOLの今後について提言
- c. マイグレーションによって期待できること：顧客
- d. マイグレーションによって期待できること：Amazon
- e. 後記

02. 開発後の考察

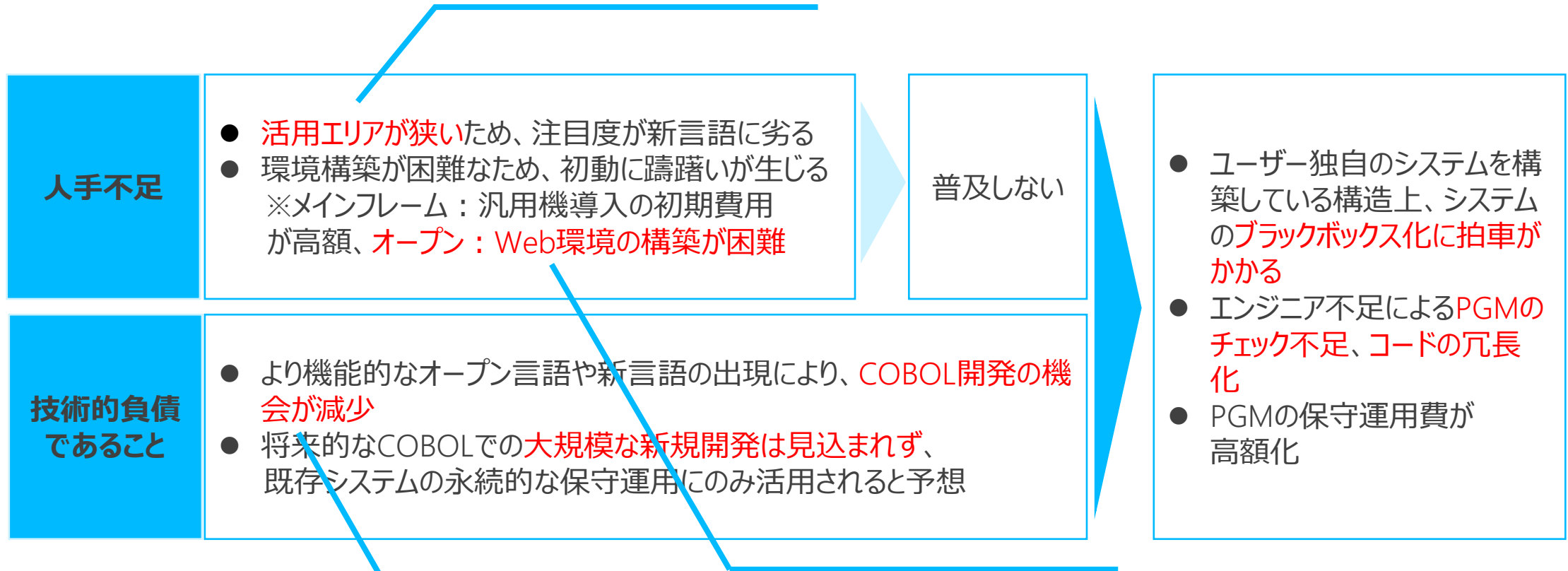
a. COBOLそもそもの課題とは



02. 開発後の考察

a. COBOLそもそもの課題とは

COBOLで何が作れるのかイメージつかなかった（COBOL歴半年 女性）



コボラーは環境構築のノウハウないから・・・（COBOL歴5年 男性）

あえてCOBOLで開発しようと思うか？（COBOL歴10年 男性）

02. 開発後の考察

a. COBOLそもそもの課題とは



今後新規の開発がないと、COBOLを有効活用は、各企業が持っているソースを有効活用するしかないよね。



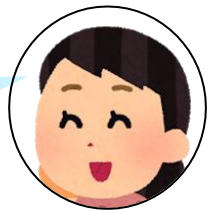
でも、小手先の発想や技術じゃどうにもならないよね。



え？ ぶっ壊す!?



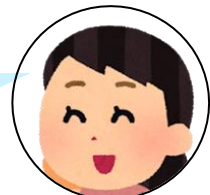
ディ？ ディス？



「マイグレーション」とかハッカソンの的にありきたりやん？



そんなもんぶっ壊したったらええやん。COBOLを。



有名なディスラプター知っとんねん。



Amazonさーん！

02. 開発後の考察

b. COBOLの今後について提言

EC、物流、クラウドサービスの創造的破壊者Amazon。

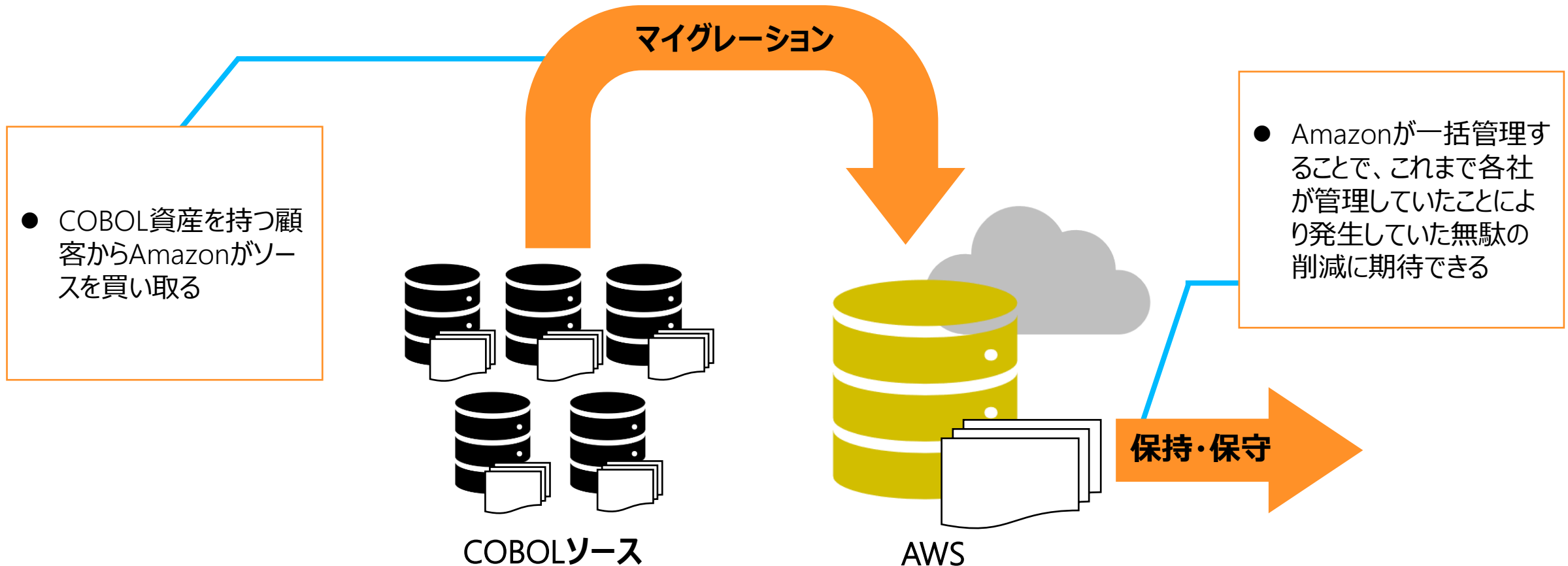
COBOL運用保守のマネージドサービスのプラットフォームを作り上げ、COBOL業界を破壊！？



02. 開発後の考察

b. COBOLの今後について提言

AWSにCOBOLソースをマイグレーションし、新たなCOBOLの在り方を創造



02. 開発後の考察

c. マイグレーションによって期待できること：顧客

	障害リスクの回避	新たなサービス提供に参戦	人的リソースの活用
AS-IS	<ul style="list-style-type: none">● 多くの技術的負債を抱え、業務基盤自体の維持・継承が困難	<ul style="list-style-type: none">● レガシーシステムサポートに伴う人月商売の受託型業務から脱却できない	<ul style="list-style-type: none">● 技術的負債の保守運用にリソースを割かないといけない● 最先端デジタル技術を担う人材を確保できない
TO-BE	<ul style="list-style-type: none">● サイバーセキュリティやシステムトラブルリスクを軽減することができる	<ul style="list-style-type: none">● SaaSを筆頭に、クラウドサービス開発・提供などに参戦できる	<ul style="list-style-type: none">● 技術的負債の保守運用に充てていたリソースを最先端デジタル技術分野に移動できる

02. 開発後の考察

d. マイグレーションによって期待できること：Amazon

業界初の一括管理

- 大量のSoR (System of Records)を一括管理することで運用に係る無駄を省くことができる

顧客増加

- 保守運用に係わっていた無駄な箇所を除去することでコストダウンに期待できる
- 本来高価だった保守運用費が安価になることで、特に金融業界の顧客増加が予想できる

新たな事業戦略

- 新規顧客データやSoRを利用した新たな事業の可能性



02. 開発後の考察

e. 後記



Amazonが一括管理してくれると嬉しいことはいっぱいだね



現実から逃げちゃ駄目だよな



希望は残っているよ どんな時にもね



なんかCOBOLがちょっとかっこよく見えてまうわ



やります、Amazonがやります



AWSに乗れ

全に期待